



QRコードを、スマートフォンなどのカメラで読み込むことで、各委員会の報告動画を視聴できます。

議会運営委員会



委員長 西内 陽美
副委員長 村井 利行
委員 安中 経人
委員 小玉 博崇
委員 鈴木 康裕

〈委員会構成〉

〈近況報告〉

◎議会活動計画の検証について

私たち議会では、議会のあるべき姿として、5つの機能を挙げています。

この5つの機能を計画的かつ継続的に維持、強化していくため、1年ごとの議会活動計画を策定しました。

本来であれば、令和4年度の振り返りと次年度に向けた活動計画を策定することとなりますが、来年の4月に現任期が終わるため、早めの検証を行うこととしています。

1年ごとの議会活動計画の上位計画には、任期4年の活動計画「議会活動基本計画」を策定することになり、これらの計画に基づき、将来的には新十津川町議会基本条例につなげていきたいと考えています。

〈住民の負託に応える「議会のあるべき姿」〉

- ① 行政施行に対する監視・チェック機能
- ② 住民の意見・要望を聞き、行政に届ける機能
- ③ 住民に情報提供する機能
- ④ 政策（国、道を含む）の課題分析機能
- ⑤ 町の将来像を見据えた政策提言をする機能

〈今後の方針〉

任期が残りわずかとなりました。議会運営委員会では、これまでの議会活動をしっかり検証し、次期の新しい議会に引き継ぎたいと考えています。



広報広聴常任委員会



委員長 杉本 初美
副委員長 進藤久美子
委員 議員全員

〈委員会構成〉

〈近況報告〉

報告事項

◎くるま座ミーティング

新型コロナウイルスの影響により、実施できていなかったくるま座ミーティングですが、この度、総務民生常任委員会、経済文教常任委員会が主催し実施しました。

◎すまいるあつぷ情報交換会

期間：10月3日～11月11日

内容：行政区自治会館で実施している「すまいるあつぷ」を訪問し、前半は一緒に「すまいるあつぷ」の活動に参加。後半15分～20分で参加されている方との情報交換を実施しました。

情報交換では、多岐にわたる声を聞くことができ、内容に応じて総務民生、経済文教の両常任委員会で精査しています。対応結果は社会福祉協議会を通し、参加者の皆さんに報告します。

◎民生委員児童委員協議会役員との情報交換

期間：10月19日

内容：協議会役員との情報交換を実施。11月末で任期が終わる中、これまでの民生委員活動の振り返りと、地域課題について情報共有しました。

◎農業委員との情報交換

期間：11月24日

内容：農業委員の視点によるご意見をいただき、農業人口の減少や水田活用直接支払交付金、スマート農業の推進と地域コミュニティの両立といった、新十津川の農業の課題などについて共有しました。

〈今後の方針〉

広報広聴活動としては引き続き、かたるベサロンを実施します。さいぐさ商店の閉店に伴い、2月からは、改善センターの研修室と役場3階で実施します。詳しい情報は議会ホームページもしくは、議会事務局にお問い合わせください。



今期の活動を検証し、次期の議会活動に反映！

経済文教常任委員会



委員長 鈴木 康裕
副委員長 村井 利行
委員 長谷川秀樹
委員 安中 経人
委員 杉本 初美

〈委員会構成〉

〈近況報告〉

常任委員会（11月30日開催）

調査事項 「新十津川町熱供給センター契約不適合事案の修補について」

8月30日に発生した、センター鉄骨架台落下事故の対応について調査しました。

調査結果

・修補状況は、シリンダーの力に対応できる架台、その下部に束柱H鋼を施し、落下の心配はなくなりました。アンカーの引張試験も十分実施し、それぞれの点検も実施されました。

・町は発生した事故の原因が契約不適合として賠償請求を行いました。

（修補の負担割合）

工事施工者が工事監理者にしっかり確認をしないまま工事を進めたことが原因であるとし、次のとおり決定しました。

- ・建設建築主体工事業者 90%
- ・建設工事監理事業者 10%

報告事項 「肥料価格高騰に係る農業経営対策について」

（目的）肥料価格の高騰による農業経営の影響の緩和

（対象者）町内の農業者

（支援の内容）

肥料コスト増加分の15%を支援。

※令和4年秋肥～令和5年春肥として購入した肥料が対象。

〈今後の方針〉

運用開始後トラブルが続いている熱供給センターが安全かつ継続して運用できているか、委員会としても適宜把握に努めます。



総務民生常任委員会



委員長 小玉 博崇
副委員長 長名 實
委員 西内 陽美
委員 進藤久美子
委員 安中 経人

〈委員会構成〉

〈近況報告〉

常任委員会（11月28日開催）

報告事項

①町営墓地の管理状況について

墓地使用者への確認の結果、全体で35.3%が使用者未把握でした。

今後の町の取り組みについて協議。町は地元住民への聞き取りなどを行い、使用者不明墓地の解消に努めます。

②地域公共交通の運行状況について

各路線の運行率、1便平均の利用人数の報告がありました。全体的に利用が少ない状況でした。

（改善事項）

- ・回数券等の販売場所を2カ所追加（イースト文具商会、金滴酒造）
- ・車内での回数券販売
- ・乗降場所の追加（11月1日から4カ所追加）

町民の意見を聞きながら、随時改善に向け協議していきます。

③冬期生活助成事業について

（助成対象）

- ・高齢者世帯（世帯の合計所得額を世帯人数で除した額が80万円以下）
- ・障害者世帯（各福祉手帳交付を受けている者、特別障害者手当を受給）
- ・ひとり親世帯（児童扶養手当が全額支給）

（助成方法）

1世帯当たり12,000円のふれあい商品券を1回交付（昨年は10,000円）

〈今後の方針〉

今回の委員会は住民からの声を基に各課に報告を求めました。今後も住民の皆さんからの声を委員会活動に反映していきます。

